

P T A 活動の実践と地域の連携について

山梨県立ふじざくら支援学校

1 はじめに

本校のP T A活動は、学校と家庭との緊密な協力を通じて児童生徒の育成と本校の教育の充実・振興を図ると共に、会員相互の教養を高め親睦を深めることを目的に取り組んでいる。P T A役員は、会長を中心に各学部副会長、各学年理事、監事で構成される理事会役員と、奉仕活動部、交流活動部、研修・広報部の3つの専門部会で構成されている。

本校のここ数年のP T A活動は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、数々のP T A行事の中止が余儀なくされ、保護者同士の親睦の場がもてない状況であった。昨年度から、活動を制限する中でP T A行事の実施が可能になり、途絶えていた保護者同士の関わりが深められるようになった。昨年度のP T A活動は、各行事で学部ごとに活動を設定し、まずは学部の横のつながりを深められるように行った。今年度より、新型コロナウイルス感染症が5類に移行になり、P T A活動も従来通りに戻り、保護者も学部を越えた関わりをもつことができるようになった。

本校のP T A活動の特色であった、親子で楽しめる夏祭りの開催は、地域の学生ボランティアの協力を得て、毎年300人近い参加者があった。しかし、夏祭りについても、新型コロナウイルスの影響により、中止となった。夏祭りに替わる、P T A役員が中心となって児童生徒が思い出に残る活動を検討し、昨年、今年は「P T A主催風船飛ばし」を実施した。昨年度はP T A役員のみでの参加であったが、今年は希望する保護者も一緒に参加し実施することができた。他県からメッセージが届いたとの連絡があり、夏祭りとは違った形で交流を広げる機会となった。

2 実践報告

(1) 奉仕活動

保護者が学校内の清掃活動等を行うことで、児童生徒がより良い環境で学べる手助けをし、学校の理解を深めること、活動を通じて保護者同士が交流できる機会とすることを目的に実施している。

今年度は9月に実施し、42名の保護者の参加があった。今回の奉仕活動は、4年ぶりに開催される富士ふれあいの村まつりに向けて、体育館や校舎周辺、中庭の草取り、体育館の入口、下駄箱、椅子の清掃に取り組んだ。休憩時には、役員の方が準備した飲み物で水分補給をしながら、コミュニケーションを深めることができた。参加保護者からは、作業が終わらない部分もあり、もっと時間を確保しても良かった等の意見もあったが、保護者の協力により、校舎周辺や中庭が綺麗になり、児童生徒の過ごしやすい環境を整えることができた。



(2) 衣類交換会

昨年度の3月と今年度の5月に、サイズアウトしたもの、卒業を機に不要になった標準服と体育着を回収し、6月に衣類交換会を実施した。

子どもの体格に合った体育着やスカート、キュロット等の制服を選び、それぞれの家庭に必要な衣類を持ち帰った。事前にどのサイズがどのくらいあるのかを知らせていたためスムーズに選ぶことができた。また、地域交流先の、「NPO法人富士と湖とかかしの里」からウインドブレーカーやTシャツ等を提供していただき、どれも大好評だった。



(3) フードバンク

今年度も7月の個別懇談の折に、保護者の方に家庭で眠る余剰食品を持参していただき、『フードドライブ』への協力を行った。奉仕活動部員で箱詰め作業を行い、お米や乾麺、お菓子等多くの食品は、「NPO法人フードバンク山梨」と連携した都留市の「NPO法人ぐんないやー織 syokuー（耕雲院）」と「NPO法人富士と湖とかかしの里」へ届けた。



(4) P T A 主催風船飛ばし

夏祭りに替わる活動として、風船飛ばしを8月に実施した。今年は保護者にも呼び掛け、合計46名の参加があった。風船飛ばしの時間帯には雲が多くかかってしまったが、児童生徒達は、風船が飛ばないようにしっかりと手に持ち、「5・4・3・2・1 飛ばしましょう！」の合図で一斉に230個の風船が空高く舞い上がった。風船が飛んでいく様子に拍手や歓声が沸き起こり、みんなですべて風船の行方を見届けた。

風船には児童生徒や教員、保護者の思いを込めたメッセージが付けられた。風船や紐は土に返る素材、メッセージはシールで貼り付ける等、環境にも配慮した。



後日、群馬県安中市の(株)ユー・コーポレーション様からメッセージが届いたとの連絡があり、連絡のお礼に本校児童生徒から手紙を送らせていただいた。その手紙のお礼にと、(株)ユー・コーポレーション様から本校の児童生徒のみなさんで使ってくださると、たくさんの文房具が届けられた。



今年もメッセージを通して遠くの方とつながることができ、児童生徒たちの心に残る活動となった。

(5) 親睦会

活動を通して、保護者同士で情報交換をしたり親睦を深めたりすることを目的に、年に2回実施している。

1回目の親睦会は、座談会の後に体を動かしてリフレッシュする活動として、カローリング大会を開催した。一投ごとに歓声が上がリ、和気あいあいとした雰囲気の中で学年や学部を越えた保護者間の親睦を深めることができた。

2回目の親睦会は、PTA役員が主催する「あおぞら珈琲」を卒業生の保護者も手伝い、お茶会が開催された。コーヒー豆、焙煎、ドリップまでこだわった本格的なコーヒーを味わい、日頃の疲れを癒しながら話し、ゆったりとした時間を

過ごすことができた。お茶菓子は、本校卒業生も働いている富士河口湖町の福祉事業所「スイートベリー-KATUYAMA」に依頼し、お菓子の配達に来た際には、スイートベリー-KATUYAMA の紹介をしていただいた。また、手伝いに来た卒業生の保護者から、卒業してからの考え方や心情、また卒業生の現在の過ごし方等の話もあり、くつろぎながらも子どもたちの将来にもつながるような充実した親睦会となった。



3 まとめ

P T A 活動が従来通りに実施できるようになり、保護者同士の交流の場が増え、学年や学部を超えて保護者が相互に関わりをもつことができた。まだ、以前のような参加人数までには至らないが、今後も役員を中心として、保護者のニーズに合わせた活動を検討していき、活動を活発にしていきたい。

P T A 役員が中心となって児童生徒が思い出に残る活動として実施した「P T A 主催風船飛ばし」では、山梨県を越えて県外の地域の人と交流を深める機会がもてたことは成果であった。

また、地域交流先の「N P O 法人富士と湖とかかしの里」とは、衣類交換会の際に衣類を提供していただいたり、本校のフードバンク活動で食品を届けたり等、連携を広げていくことができた。

今後も保護者や地域の方々に、P T A だよりやP T A 新聞、ホームページのブログ等で多くの情報を発信し理解を深めていただくと共に、連携に向けた取り組みを一層深めていきたい。